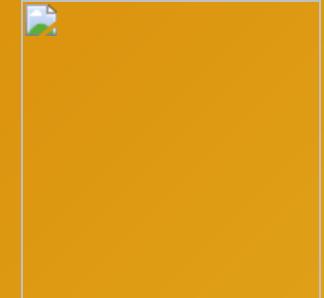


DIFY PLUGIN COMPETITION 2026

からあげ 店長クン

コンビニ店長の業務を実行するAIエージェント

Difyプラグイン・13ツール統合・尾嶋洋一



コンビニ店長の業務をエージェントが代わりに実行する



からあげ店長くん = Difyエージェント + 13の業務ツール

チャットで指示すると、ツールを自分で選んで業務を実行し、成果物を返す

普通のチャットボット

「シフト表の作り方はこうです」と説明する

「天気を見て発注調整しましょう」と助言する

「クレーム対応は落ち着いて」と教える



からあげ店長くん

シフト表を作成して渡す

天気を取得し、発注数を計算して提示する

状況に応じた対応手順をその場で出力する

チャットフローとの違い：ツールを自分で選ぶ

チャットフロー（固定手順）



手順が最初から決まっている。想定外の依頼には対応できない

エージェント（動的ツール選択）



依頼の内容を見て、どのツールを使うかをLLMがその場で決める

ただし、エージェントが「使えるツール」を持っていないと何もできない。今回は実際に動く13個の業務ツールをプラグインとして実装し、エージェントが本当に業務を実行できる状態を作った。ここがこのプラグインのポイント。

エージェントが使える13のツール

売上分析・ダッシュボード

`sales_analytics / dashboard_generator / dashboard_template`
KPI集計→インラインHTML描画まで

シフト管理

`shift_manager / shift_optimizer / shift_table_generator`
CRUD・最適化・表生成

需要予測・発注

`hourly_weather + demand_forecast + order_optimizer`
天気×RandomForest→発注数算出

在庫管理

`inventory_manager`
在庫レベル・消費期限アラート・不足検知

LINE連絡・商品情報

`line_composer / lawson_items`
テンプレート連絡文・商品カタログ検索

共通基盤

`datetime_utils / db_utils / data_loader`
JST変換・DuckDB接続・JSONキャッシュ

すべてDuckDB（インメモリ）で動作。外部APIは天気（Open-Meteo、無料・キー不要）のみ。理由は次のスライドで。

Dify Cloud上の制約にどう対応したか

ファイルシステムが読み取り専用

SQLiteやCSVへの書き込みができない。DuckDBのインメモリモードを使い、起動時にスキーマ作成+シードデータ投入で対応した

外部APIへの依存を最小限に

APIキーの設定が必要になると、インストール後すぐ動かない。天気だけはリアルタイム性が必要なのでOpen-Meteo（無料・キー不要）を使い、他は全部内蔵した

プラグイン間の連携が難しい

別のプラグインのツールとデータをやり取りする手段がない。13ツールを1つのプラグインにまとめて、DuckDB接続やJSONキャッシュを共有する構成にした

エージェントノードのファイル出力制限

create_blob_messageが転送されないDifyのバグがある。ファイルダウンロードを諦め、チャット内にHTMLを直接描画する方式に切り替えた

これらの制約の中で、エージェントが実際に動くツールを持って業務を実行する——その姿を見せたかった。

売上ダッシュボード生成

「今週の売上ダッシュボードを作成」

エージェントが選んだツール

① sales_analytics → 今週分データ取得

② dashboard_generator → KPI集計

③ dashboard_template → インラインHTML生成

実行結果のスクリーンショット

3ツールを連鎖実行。チャット画面にグラフ付きダッシュボードが直接表示される

天気連動の発注最適化

「天気を見て明日の発注を最適化して」

エージェントが選んだツール（4つ連鎖）

- ① hourly_weather → 明日の天気・気温取得
- ② demand_forecast → RandomForestで需要予測
- ③ inventory_manager → 現在庫と発注点を確認
- ④ order_optimizer → 推奨発注数を算出

この組み合わせはエージェントが判断した結果。別の聞き方をすれば別のツールが選ばれる

実行結果のスクリーンショット

急な欠勤対応

「田中さんが明日休みになった。シフトを更新してLINEの交代依頼文も作って」

エージェントが選んだツール（4ステップ）

① shift_manager → シフトDBを更新

② shift_optimizer → 代替スタッフ検索

③ shift_table_generator → シフト表再生成

④ line_composer → LINE交代依頼文を作成

実行結果のスクリーンショット

業務が広く、属人化しやすく、判断ミスのコストが高い

1店舗あたりの年間廃棄額

468万円

全国コンビニ店舗数

56,000店

発注判断が経験頼り

「雨の日はおでんが売れる」「この時間帯は弁当が動く」——ベテランの頭の中にしかないノウハウで回っている

店長が変わると業績が変わる

同じ立地・品揃えでも、店長の判断力次第で売上や廃棄率に差が出る。業務が属人化している証拠

新人がすぐに回せない

発注・シフト・在庫・クレーム対応を同時にこなす必要がある。一人前になるまでのミスが直接口戻になる

本部の施策が実行されない

「天気を見て発注を調整して」と言われても、具体的にどう数字を変えればいいかわからない

からあげ店長くん

何をするか

コンビニ店長の業務を、Difyエージェントが自然言語の指示で実行する。売上分析、シフト管理、需要予測、在庫管理、LINE連絡文まで13ツールで対応

何を見せたかったか

エージェントが実際に動くツールを持っていれば、業務を本当に代行できること。固定フローではなく、依頼に応じてツールを選ぶのがエージェントの強み

技術構成

Dify Agent Mode + 13ツール
DuckDB（インメモリ）
RandomForest（需要予測）
Open-Meteo（天気）
オンラインHTML描画

環境制約への対応

読み取り専用FS → インメモリDB
API依存最小化 → 天気のみ
プラグイン間連携不可 → 単一プラグイン
ファイル出力バグ → HTML直接描画
テスト107件

インストール方法

1 プラグイン画面を開く

Dify画面右上「プラグイン」

2 GitHubからインストール

「+ インストール」 → 「GitHub」

3 リポジトリURLを入力

下記URLを貼り付け

4 バージョン・パッケージを選択

最新版 → karaage-tencho-kun.difypkg

<https://github.com/yoichiojima-2/dify-plugins>